

教育長日記 (平成25年12月1日)

青い空に浮かぶ白い雲 44

— 行政視察 小中一貫教育、環境教育、人権教育学級、図書館運営 —

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

11月6日から8日まで、東大和市議会 厚生文教委員会（中間建二委員長、西川洋一副委員長、大后治雄委員、中村庄一郎委員、関田 貢委員、東口正美委員、床鍋義博委員、近 昌幸庶務調査係主事）の行政視察に同行させてもらい、福岡県北九州市と大分県別府市、豊後高田市を視察してきました。視察の概要は以下の通りです。

	第一日目 11月6日 (水)	第二日目 11月7日 (木)	第三日目 11月8日 (金)
訪問先	北九州市議会 北九州市立曾根東小学校 (北九州市泊)	北九州市立中央図書館 別府市議会 (豊後高田市泊)	豊後高田市立図書館
訪問先取組の概要			
市政運営等	<p>北九州市 昭和38年、門司・小倉・若松・八幡・戸畑の5市が対等合併。人口およそ97万人、平成23年「環境未来都市」「国際戦略総合特区」に選出。アジアの活力を取り込む産業競争力強化を目指す。</p> <p>別府市 人口12万2千人、湧出量全国第1位、「住んでよし、訪れてよし、アジアを結ぶONSEN都市」を将来像として掲げる。市議会の重要性とふるさとを愛する心の育成に別府子供市議会を開催。</p> <p>豊後高田市 人口2万3千人、こころのふるさと～歴史と未来あるまち豊後高田市～「昭和の町」住みたい田舎日本一、国東半島・宇佐地域が世界農業遺産に認定。</p>		
北九州市 小中一貫・ 連携教育	<p>現在の小学校、中学校の施設（いわゆる施設分離型）の下で、小学校と中学校が、義務教育9年間の教育課程や教育活動を一体的にとらえ、学力向上、体力向上、中一ギャップの解消など、<u>中学校区の状況を踏まえた教育目標を設定し、一貫した考えを共有しながら連携を進めていた。</u></p> <p>各中学校区では、児童生徒や地域の課題・実情等についての共通理解を図り、教職員の交流、保護者・地域の交流等を組織的・計画的に「できるところから」取り組んでいた。基本方針・関連資料集を頂く。</p>		
北九州市立 曾根東小学校 における環境 教育	<p>曾根東小学校は、北九州市小倉南区に位置した学校で、すぐ近くに北部九州最大の「曾根干潟」がある。曾根干潟は、絶滅危惧種カブトガニの生息地であるとともに、野鳥の越冬地でもある。</p> <p>平成5年度より年2回、保護者、地域自治会、漁協、保育園、市環境局との連携による「曾根干潟クリーン作戦」を実施している。また、環境教育で学んだことや活動を地域の方々に伝えるため、毎年12月頃6年生が市民センターで「地域環境フォーラム」を開催し、保護者、地域をはじめ各方面から高く評価されている。</p> <p>曾根東小学校は、環境省から「学校エコ改修と環境教育事業」のモデル校に選ばれ「夏涼しく、冬暖かい、環境にやさしい」校舎になっている。基礎学力の定着に向けて各教室内の掲示にも様々な工夫が見られた。</p>		
別府市 人権教育学級	<p>別府市は、住む人の心が豊かになれば、住む人とのふれあいにより訪れる人の心も豊かになる、そんな街づくりを目指している。昭和57年に始まった「人権教育学級」は、同和問題をはじめとした様々な人権問題について正しく認識し、解決に向けて差別のない明るい社会の実現を目指す「指導者の育成」を図ることを目的としている。幼、小、中、高、特別支援学校のPTA会員を対象に、これまで3000人が受講したとのことある。受講後は、学習した内容を地域や家庭に広げ、人権を尊重するまちづくりの推進に努めている。</p> <p>また、広く市民を対象にした人権に関する学習の機会「身近な人権講座」を実施し、市民一人一人の人権問題に対する正しい認識と理解を深める取組を続けている。</p>		
図書館運営 ・北九州市立 図書館 ・豊後高田市 立図書館	<p>北九州市立図書館と豊後高田市立図書館は、どちらも指定管理者制度を導入し運営されていた。この制度導入により、民間事業者のもつ運営にかかわるノウハウや人脈により、様々な工夫を生かした市民サービスの向上・経費の低減を図る試みを続けている。</p> <p>人々が集まり、出合う「場」として見直されつつある図書館をまちづくりととらえ、教育の中核として位置づけた自治体の意気込みや試行錯誤について多く学ぶことができた。</p>		